

施策マネジメントシート(2022年度の振り返り、総括)

作成日 2023 年 6 月 30 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 環境課	 
				課長 原沢智章	
施策	12	循環型社会づくりの推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
	①町民 ②一般廃棄物		①ごみを適正に分別し、減量と資源化を積極的に行い、環境への負荷を軽減させる。 ②適正に処理される。	1	ごみの減量の推進	町民
2				ごみの資源化の推進	①町民 ②一般廃棄物	①分別を徹底する。 ②適正に処理される。
3						
4						

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 町民への意識啓発を通じて、ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、循環型社会の構築を目指します。 ごみ処理施設の安定稼働を継続させるとともに、ごみの適正処理を推進します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	ごみの減量へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	86.4	85.9	84.0	86.8	92.4	91.6
目標値					86.5	87.0	87.5	88.0	89.0	90.0
B	ごみの総排出量/1人1日あたりの排出量	t/g	実績値	5,966/819	5,619/789	6,127/877	5,940/865	5,784/864	5,797/880	-
			目標値		5,906/790	5,846/780	5,786/770	5,726/760	5,666/750	5,606/740
C	ごみの資源化率(リサイクル率)	%	実績値	57.7	50.9	60.0	58.2	61.5	22.5	-
			目標値		57.8	61.0	61.5	62.0	62.5	63.0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と把握方法	<p>A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。→「特に取り組んでいない」と回答しなかった人の割合</p> <p>B)数値が低ければ町民がごみの減量を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。 一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表)</p> <p>C)数値が高まれば、町民がごみの資源化を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。 一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※リサイクル率(%)=(集団回収量+資源化量)÷ごみの総排出量</p>
---------------	---

目標値設定の考え方	<p>A)町民アンケートで86.4%と高い割合になっているが、3R等の分別を促進することにより、平成34年度は90.0%を目標とする。</p> <p>B)ごみの総排出量は、年々低くなっているが、1人1日当たりのごみ排出量は、微減状態のため、平成34年度の成り行き値を750gとしたが、若年層へのPRや3R等の分別を促進することにより、平成34年度は740gを目標とする。 ※一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※少子高齢化で人口が減少して行く中、ごみを分別していた世代が減少し、ごみを分別しない世代の割合が増加したと考えられる。</p> <p>C)リサイクル率は、現在でも、57.7%と高い割合になっているため、平成34年度の成り行き値を57.8%としたが、さらに3R等の分別を促進することにより、平成34年度は63.0%を目標とする。 ※一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表) ※リサイクル率(%)=(集団回収量+資源化量)÷ごみの総排出量 本町では、可燃ごみを焼却せず、RDF(固形燃料)として資源化しているため、県下最上位のリサイクル率である。 ※庁舎エコ活動推進委員会を設置し、町職員の3R等の分別意識向上に取り組み、ごみの減量化を図る。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方のルールを守り、きちんと分別するなど、ごみの減量化・資源化に取り組む。 ごみを出さないよう、マイバッグやエコバッグを持参するなどの身近なエコ活動に取り組む。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量や資源化、適正処理のための周知・啓発を行う。 ごみを適正に収集・処理する。
---------------	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの総排出量は、年々減少しているが、人口減少もあり、町民1人1日あたりのごみの排出量が横ばい状態になっている。 利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会が令和2年7月に設置され、広域処理での協議が進んでる。処理経費の削減の議論も踏まえ、広域処理までの間は固形燃料化施設を休止し、可燃ごみを全量外部委託する方向が示された。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ袋の無料化 早急に実現を! 生ゴミ(赤)の使用量の調査について、使い切れずに大量に残っている話を聞きます。アンケート等により調査、検討して税金の無駄遣いにならないように。 ゴミ袋(赤)みどりはあまり使わないので黄色と取り替えてほしい。ハガキ交換時必要な袋がほしい。
-----------	---

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	生ごみ処理容器等購入補助事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	453,200 円				
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		電気式生ゴミ処理機・コンポスター・水切りバケツの購入に対し助成をし、家庭から出る生ゴミの自己処理と堆肥としての再利用を促し、ゴミの資源化、減量化を図る。	生ごみ処理容器等購入補助事業を周知しごみの減量化を啓発したが、補助事業を利用した町民は減少した。	事業実績						
	基本事業	02	ごみの資源化の推進				電気式生ゴミ処理機購入補助台数						
組織名		生活水道 課		生活環境 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	令和 3年度	令和 4年度	単位
											11	7	台

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	ごみ処理広域化推進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	550,510 円				
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。	・令和4年9月13日付で構成5市町村による「広域化に関する基本合意書」を締結。 ・令和4年11月14日付で構成5市町村による「一般廃棄物処理広域化に関する協定書」を締結。 ・令和4年12月13日付で利根沼田広域市町村圏振興整備組合規約の共同処理する事務を変更し、「ごみ処理施設及びその付帯施設の設置に関する事務」を追加し、組織に一般廃棄物処理推進室を設置する。	事業実績						
	基本事業	02	ごみの資源化の推進				構成団体数						
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	1	令和 3年度	令和 4年度	単位
											5	5	個

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	塵芥収集事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	108,339,288 円				
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		町民から排出される家庭ごみをスムーズに収集・運搬し、衛生的な生活環境の確保に努める。その他、指定袋の管理・ごみ集塵箱の作成、修繕・委託事務・統計事務・請求業務等。	・全町の土曜日、水曜日を除く収集曜日(燃やせるごみ)の統一。 ・収集業務実態に基づく経費の見直し。	事業実績						
	基本事業	02	ごみの資源化の推進				ごみ全体収集量(可燃・不燃粗大・資源ごみ等)						
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	令和 3年度	令和 4年度	単位
											5797	5935	t

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	資源集団回収奨励金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	559,440 円				
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進		家庭から排出される再生可能な資源物(古紙類、かん、ペットボトル)を分別し、回収することにより、ごみの減量化及び資源化を図るため回収を行う団体に対して奨励金を交付する。	広報による集団回収事業の紹介	事業実績						
	基本事業	02	ごみの資源化の推進				登録団体数						
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	4	項	2	目	2	令和 3年度	令和 4年度	単位
											21	20	団体

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	奥利根アメニティパーク施設管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	57,279,170 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	廃棄物処理法に基づき、毎年のみなかみ町一般廃棄物実施計画を策定・告示し町内のごみ及びし尿・浄化槽汚泥等を適正に処理するための需用費の管理、法定点検、法定分析業務委託などアメニティパーク全体の管理運営業務		利根沼田ブロックでの広域化処理施設建設が協議している中、施設が完成するまでの間、経費削減をするために固形燃料化施設を停止し施設内に中継設備を整備し、可燃ごみ全量を近隣自治体、民間業者へ委託した。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					施設処理量(可燃ごみ、不燃粗大、資源ごみ)				
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設運転に伴う電気使用量及び施設維持管理にコストがかかる。	各施設の老朽化が進んでいるため、定期的な調査及び維持管理に努め、ランニング経費等を注視しながら維持管理に努める。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								2672t・930t・218t	1882・814・220	t		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	燃やせるごみ処理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	535,895,290 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	町内で排出され、収集及び直接搬入された家庭系・事業系の可燃ごみを固形燃料化施設において破碎・乾燥・圧縮成型の工程により固形燃料(RDF)とするための維持管理。		固形燃料化施設を停止し、施設内に中継設備を整備し、広域処理が始まるまでの間は可燃ごみを全量委託する。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					製造した固形燃料の量				
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設の稼働から23年が経過し、設備の老朽化に伴う修繕箇所が増加や改修工事に経費が掛かる。	可燃ごみの委託処理が滞ることがないよう、近隣自治体、民間業者の処理状況を注視しながら対応する。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								1566	760	t		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	資源ごみ等リサイクル事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	49,943,800 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	生活系及び事業系一般廃棄物(粗大・不燃・資源ごみ)から資源物を効率的に回収し、ごみの減量を図るためのリサイクル施設の適正運転及びごみ破碎後に出る残渣物の適正な処理をする。		精密機能検査の結果を元に整備順位を検討し来年度以降の工事を検討した。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					搬入量(ペットボトル含む)				
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	老朽化した設備の延命化工事を計画的に行い、適正な施設運転をしていく、また選別後の残さの処理単価が高騰してきている	整備順位に基づき補修工事を実施していく。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								1149	1034	t		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	し尿・浄化槽汚泥処理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	57,880,550 円			
施策体系	施策	12	循環型社会づくりの推進	町民の家庭で使用している浄化槽の清掃水及び汲み取りし尿を奥利根アメニティパークのし尿処理施設にて適切な処理をする運転保守管理業務		精密機能検査の結果を元に補修及び更新工事を実施した。		事業実績				
	基本事業	02	ごみの資源化の推進					搬入量(し尿)・搬入量(浄化槽汚泥)				
組織名		生活水道 課		廃棄物処理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	4 項	2 目	3	施設稼働から20年以上経過しているため設備機器が老朽化し、これらの延命化修繕・更新工事に経費がかかってくる。放流水の法定排出基準を遵守しなくてはならない。	精密機能検査の結果を元に整備順位を検討し来年度以降の工事を検討する。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								706・4893	682・5275	kl		